

灘区医療介護サポートセンター便り



2022年(令和4年)4月 第5号

発行 灘区医療介護サポートセンター

住所 灘区水道筋1丁目24 灘区医師会館内 電話 078-801-1120 FAX 078-801-1121

うらかな春の訪れとともに、新年度がスタートしました！ 昨年度は、多くの御協力を頂き誠にありがとうございます。

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

「サポートセンター便り」では、医療職・介護職の皆さまの連携に役立つ情報や研修会等の活動報告を発信してまいります。

すっかり春めいてまいりましたが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ 新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束せず、ついには第7波にまでなろうかとしています。10代20代と若い世代に拡散し、小中学校でのクラスターの発生や、高齢者の死亡者の報告があります。また、海外では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が、悲惨な映像と共に連日報道され、絶望感に苛まれております。

さてサポートセンター事業では、これまで行われてきた、研修会や講演会もこのコロナ禍では十分には実施することができませんでした。ZOOMなどを活用しなんとか開催してはおりますが、やはりお互いの意思の疎通や意見交換には少し難があります。コロナが明けたおりには、こういったIT機器の良いところも活用しながら、医療介護がより緊密な関係を構築できるようにすすめていきたいと思っています。やはりお互いに顔の見える関係づくりが一番です。

コロナも戦争も1日も早く終息し平和が訪れることを祈るばかりであります。

灘区医師会会長
灘区医療介護サポートセンター長
岡田 司郎



灘区医療介護サポートセンター 担当就任のご挨拶

新年度を迎え、忙しい日々をお過ごしのこととお察しします。このたび灘区医療介護サポートセンターの担当に加えていただくこととなりました。介護保険事業計画の経緯をみますと、2012年からの第5期計画で地域包括ケアシステムの実現の方向性が打ち出され、それを継承するかたちで2015年(平成27年)からの第6期計画において、在宅医療・介護連携の取り組みを本格化させました。その後2018年(平成30年)からの第7期事業計画においては、介護保険の理念である、高齢者の自立支援・重度化防止にむけ、舵を切るとともに、2021年からの第8期計画で、2025年問題や、2040年問題を見据えた計画の策定がはじまり、在宅医療・介護連携の推進については、看取りや認知症への対応強化等の観点を踏まえることとなりました。次期2024年からの第9期で、いよいよ団塊の世代が全員75歳を超える2025年問題の年を迎えることとなります。神戸市では第8期計画の中で、在宅医療・介護連携の推進は医療介護サポートセンターを中心に推進しています。これは「地域での生活の継続に向けた支援」の中に入っており、早め早めの連携のもと、自立支援と介護予防・重度化防止により地域生活を継続するねらいと考えられます。また、看取りやACPの普及啓発により、人生の最終段階における医療・ケアの意思決定支援をすすめることも在宅医療・介護連携の推進に含まれています。

灘区医療介護サポートセンターでは、第8期の神戸市介護保険計画を踏まえ、早め早めの医療介護連携のもと、自立支援、介護予防・重度化防止や看取り、認知症への対応強化の観点を踏まえてすすめていきたいと思っております。

令和2年に開院したばかりの若輩ではございますが、灘区医師会の先生方におかれましては、サポートセンター運営にあたり、忌憚のない意見を頂戴したいと考えております。ご支援を賜りますとともに、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

灘区医師会理事
灘区医療介護サポートセンター指揮命令者
柿木 達也



第17回さくら塾 ～多職種連携研修会～

講演『認知症～よりよい人生をまっとうするには～』

講師:かきぎ認知症しあわせクリニック 院長 柿木達也 先生

質疑応答

日時:令和4年2月27日(日)14:00~16:10

ZOOM ミーティングを利用したオンライン研修 参加人数:46名



「ACP」(人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み)をテーマに、ケアの対象者が自分らしく最期まで生きることを支援するために、事例からACPを共に考え、連携や支援の方法を深めながら情報共有を目的とした研修会を開催しています。

第17回では、認知機能の低下した方に対するACPについて、様々なガイドラインや資料を基にご講義いただき、柿木先生が関わられた事例での貴重なお話もお聞きすることができました。

参加者からは、『具体的な事例からのアドバイスや視点などを聞くことができたため、課題等も理解でき、わかりやすかった』というご意見を多くいただきました。

また、質疑応答では柿木先生から様々な質問への丁寧なご回答をいただくことができました。

ACPの基礎を理解し、日々の支援の中で取り組むポイントや気づきを学ぶことができました。

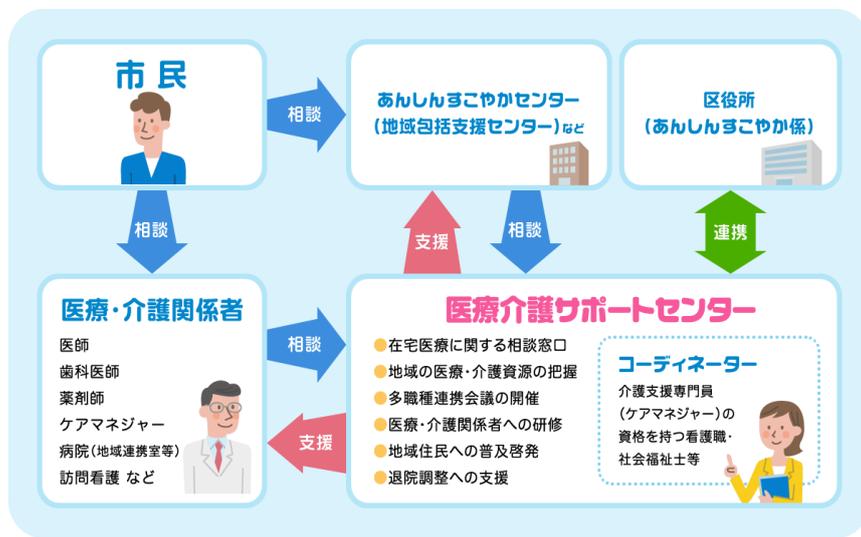
***** 参加者アンケートから *****

- ・在宅と病院の連携を改めて考える機会となった。
- ・身近な場面でも、ACPの知識・技能が求められていることを思い知らされた。
- ・在宅の立場での関わりを知ることができた。退院カンファレンスの役割をより理解できた。
- ・患者本人と家族の気持ちに、医療側がいかに関与していくのか、実例を知ることができました。
- ・ACPの基礎から知ることができ、また実際の現場でのやりとりの実際を聞くことができ、自身の今後の支援業務の中で活用するためのヒントをいただけた。
- ・ACPについての研修会は多いと思いますが、実例を交えお話し下さりとても分かりやすかった。またどのタイミングでケアマネが参加して良いのか等も具体的で参考になりました。

灘区 医療・介護 地域資源マップ 2021年度版を発行しました

地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供することにより、地域の医療・介護関係者が、紹介先や協力依頼先を適切に選択、連絡できることを目的に、既に公表されている事項も活用しながら既存の公表情報等で把握できない事項なども必要に応じて収集させていただいております。灘区では初版を2019年3月に発行しています。この度、改訂版を発行しました。医療資源アンケートにご協力いただきました各事業所様に感謝申し上げます。日々の在宅療養支援、医療・介護連携にご活用ください。





☎このような相談を受けています。

【リンパドレナージュの資格を持つ看護師が在籍している訪問看護ステーションについて】

①子宮頸がん術後より両側下腿リンパ浮腫出現。放射線照射後抹消神経障害による歩行障害があり装具、歩行者使用している。医師、看護師とも月一回、蜂窩織炎時の点滴が必要な時に定期訪問している。今回、本人より依頼があり、リンパマッサージ可能な看護師を探している。

②病院に通院している右下肢リンパ浮腫の患者。病院から紹介された事業所と契約しサービス提供を来週から開始する予定だったが、急に本人が担当看護師を気に入らないと拒否した。対応可能な事業所が他にあるだろうか。

【対応】☛サポートセンター資源情報から灘区や他区の情報提供を行いました。お気軽にお問い合わせください。

【灘区医療介護サポートセンターについて】

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

= 具体的な機能と役割 =

●在宅医療に関する相談窓口

医療、介護の関係者からの在宅医療に関する相談に対して、コーディネーターが必要な情報提供や支援・調整を行います。

●地域の在宅医療・介護資源の把握

地域ごとに、在宅医療に取り組む病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護施設などの情報を収集し、関係者間の連携・調整に活用します。

●多職種連携の推進(多職種連携会議の開催、医療・介護関係者への研修)

地域の医療・介護関係者の連携を推進するため、お互いの業務の現状を知り、顔が見える関係づくりを目的とした、多職種連携会議を開催します。また、医療・介護等の専門職を対象とした、在宅医療・介護に関する研修会を開催します。

●地域住民への普及啓発

市民を対象に、在宅医療・介護への理解を深めることを目的とした講演会などを開催します。

●退院調整への支援

退院調整は医療機関が実施することが前提ですが、諸事情により十分な退院調整を行うことができない場合等、退院後の円滑な地域移行に支障がある場合は、

当該医療機関(地域連携室等)からの要請に応じて、医療機関が実施する退院調整への支援を行います。



コーディネーター紹介



*** 長友 まゆみ ***

4月1日付けで、東灘区より異動してまいりました長友まゆみです。看護師と介護支援専門員の資格を持っています。コロナ禍ではありますが、できるだけ皆様にお会いしたいと思っています。西面さんと一緒に頑張っていけますので、よろしくお願い致します。

*** 西面 明子 ***

皆さまには、日頃よりご理解とご協力をいただき感謝いたします。灘区に医療介護サポートセンターが開設され6年目になりました。今後も、地域の医療・介護・福祉関係者の皆さまの連携をサポートして参ります。どうぞよろしくお願い致します。



令和4年度 研修会の予定

医療・介護関係者の研修会

(1)2022年度第1回灘区医療・介護関係者の研修会

「在宅で最期まで過ごしたいという思い」を支えるために～知っておきたい制度～

＊身寄りがない、親族が遠方で連絡がつかないなど様々な問題を抱えている高齢者に対して、事例をもとに知っておきたい成年後見制度や死後事務棟の制度を学ぶ機会にしたいと思えます

【日時】2022年5月27日(金)14:00～15:30 【参加費】無料

【場所・定員】①灘区医師会館3階研修会 10名

②ZOOMによるオンライン 40名

【講師】あうる法律事務所 弁護士 片岡 昌樹氏

【申込方法】神戸市医療介護サポートセンターのホームページから

又は下記のURL、右のQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/CKZiXuyv3kz2cYUN6>



(2)「灘区の各科の訪問診療や在宅診療でできる治療、検査、多職種連携について知る(仮)」

6月～12月に5回、各科の先生にお越しいただき、開催する予定です

各科の先生方の在宅での診療を知り、多職種連携の在り方について

話し合いたいと思っています



(3)さくら塾

9月と2月に開催予定

テーマは検討中です



(4)拡大版 地域医療連携室交流会

10月頃：灘区、東灘区、中央区の病院地域連携室の方々と在宅との交流形式の研修会予定

(東灘区医療介護サポートセンターと共催)

(5)その他

こんな研修会をして欲しいなどご希望があれば、サポートセンターまでご連絡ください

医療介護サポートセンター ホームページのご案内

医療介護サポートセンターのホームページでは、各区サポートセンターの紹介やお知らせ、市民講座、研修案内、活動報告などご覧いただくことができます。ぜひ、ご活用ください。

URL:<https://kobe-iks.net>



灘区医療介護サポートセンターのページ

URL:<https://kobe-iks.net/area/nada>

QRコードはこちら



【編集後記】新しい年度が始まりました！今年はお天気にも恵まれ、都賀川沿いの桜を満喫することができました。六甲山を上げば鮮やかな新緑に心が躍ります。さて、新型コロナウイルス感染症の流行から3年目になります。感染対策を優先する生活が長引く中、いつまで続くのかとモヤモヤし、心の疲れを感じていませんか？また、気候はもちろんのこと、身のまわりの生活環境も大きく変化する季節です。自律神経も乱れがちになり、気づかぬうちにストレスが強くなっていることがあります。皆さま、お身体にはくれぐれもご自愛ください。

